


『きいてみようしんぞうのおと』
(みつげようかがく)
ポール シャワーズ/さく
ホリー ケラー/え
ふくいんかんしよてん
(福音館書店)
たいしよ しょうがっこうていがくねん
対象：小学校低学年から

ペーパータオルやトイレットペーパーのしんが
あったら、みんなも家族やお友だちの胸にあ
てて、しんぞうの音をきいてみましょう。いつも
動きつづけているしんぞうは、どんなしごとを
しているのかな？しんぞうのしくみと働きを
さぐります。

『むしをたべるくさ』
(ふしぎいっぱい写真絵本)
わたなべ こうせい しゃしん いじち えいしん ぶん
渡邊 弘晴/写真 伊地知 英信/文
しゃ たいしよ しょうねん
(ポプラ社) 対象：幼年から




むしをたべちゃう草があるんだよ。どんな
ふうにしたべちゃうかって？わなを作っ
たり…おっと、つづきはなしよ。ちよつと
こわいけど、どんなふうにしたべるか見て
みよう！



『うまれたよモンシロチョウ』
(よみきかせいきものしゃしんえほん)
やすだ まちる しゃしん
安田 守/写真
こすぎ こうせい ぶん
小杉 みのり/構成・文
いわさきしよてん たいしよ しょうねん
(岩崎書店) 対象：幼年から

みんながよく知っているモンシロチョウ。小さな卵か
らうまれて、はっぱや卵のからをむしやむしやおなか
いっぱいたべて…はくりよくいっぴいの大きな写真
で、集団への読み聞かせにもぴったり。



『地球と宇宙のおはなし』
ちきゅう うちゅう
チョン チャンフン/文
やまぶく あけみ え こうだんしゃ
山福 朱実/絵 (講談社)
たいしよ
対象：ひとりで読むなら
しょうがっこうていがくねん
小学校低学年から

まっくらな宇宙にはたくさんの星があります。
わたしたちがすんでいる地球もあります。地
球にはなぜ昼と夜があるの？月はなぜ形
がかわるの？宇宙のひみつを、ダイナミック
な絵とわかりやすい文章で見てください。



◆『はじめてのががく 1～15』 デニス=リグリー/さく・え (偕成社)
「なつかしい！」という大人もいるかも。現在絶版ですが図書館を利用すれば読めます！



◆『たねのはなし』 ダイアナ・アストン/文 シルビア・ロング/絵 (ほるぷ出版)
つぎつぎ しょうかい たね うつく え
次々に紹介される種のふしぎ。カラフルで美しい絵をじっくりながめたくります。

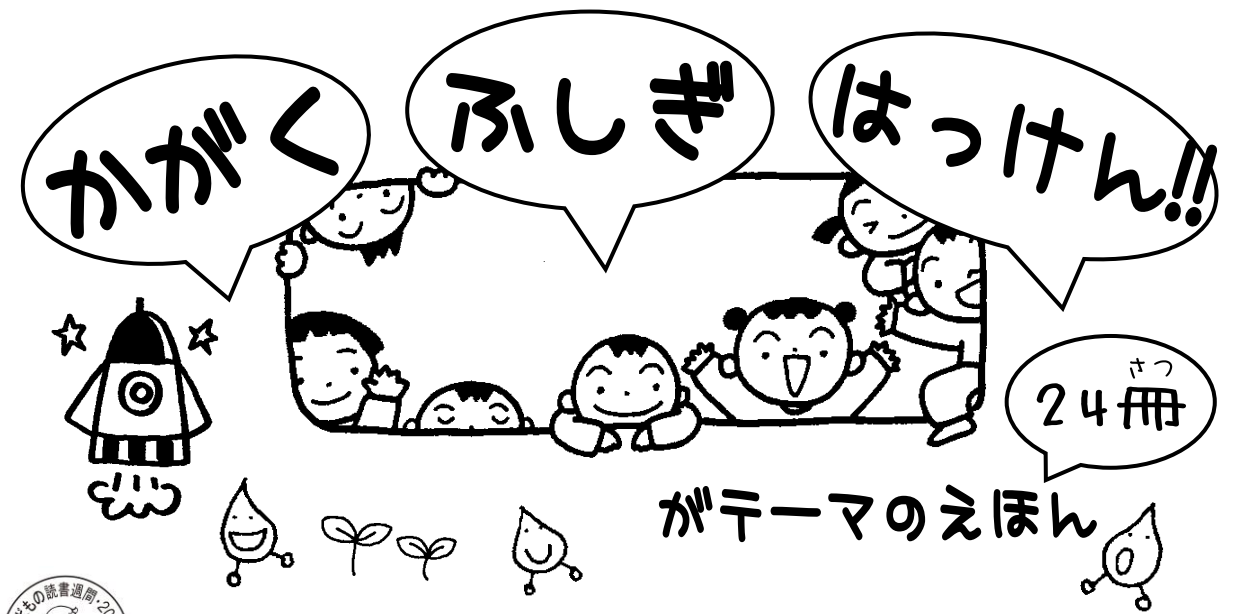


◆『雪の結晶ノート』 マーク・カッシーノ/作 ジョン・ネルソン/作 (あすなる書房)
ず しゃしん こころ えほん べつさつたいよう
図と写真がズラリとならんでわかりやすい！自由研究に使いたくなる本。




◆『子どもと楽しむ科学の絵本850』 メイツ出版(発売) **ガイドブックもあります**

◆『かがくする心の絵本100(別冊太陽)』 横山 真佐子/ほか編 (平凡社)



2013・第55回 こどもの読書週間 『たくさん読んで大きくなあれ』




『だって春だもん』
こでら たくや しゃしん ぶん
小寺 卓矢/写真・文
(アリス館)
たいしよ しょうねん
対象：幼年から

どんなことで、「春がきた」って思うかな？雪が
とけたら？お花がさいたら？山に春がくると、
みんなが動きだす。みんなってだれのことか、
見てみてね。春先の読み聞かせにぜひどうぞ。




『バナナのはなし』
(かがくのとも絵本)
いざわしよ ぶん おいかわけん じ え
伊沢 尚子/文 及川賢治/絵
(福音館書店)
たいしよ しょうねん
対象：幼年から

バナナを冷蔵庫にいれてみたところから話
ははじまる！いままで知らなかったバナナの
話におもわずひきこまれてしまいます。学校
での読み聞かせにもおすすめです。



『くるくるくるみ』
まつおか たつひで
松岡 達英/さく・え
(そうえん社)
たいしよ しょうねん
対象：幼年から

「この青い実がくるみなの？」くるみのお料理
をたべて、くるみがどうやってできるか知りた
くなった、ゆうかちゃん。おじいちゃんとおばあち
やんに、くるみの木の育ち方や、実のひろい方、
料理の作り方を教えてください。



『てのひらかいじゅう』
(しぜんといっしょ)
まつはし としみつ
松橋 利光/しゃしんとぶん
(そうえん社)
たいしよ しょうねん
対象：幼年から

ジャングルみたいな庭をかんさつしていると、
かいじゅうを発見！トカゲにヤモリ…どれもと
ても小さなかいじゅうたち。でも近くで見ると
すごいはくりよくだ。おもわず、かいじゅうたちを
探しにいきたくなるかも。



『鳥の巣いろいろ』
鈴木 まもる / 作・絵
（偕成社）
対象：小学校低学年から

鳥の巣って見たことある？よく見る巣からかわった巣まで、いろ～んな巣があるんだよ。でも、形や材料がちがっても巣を作るわけはおなじ。鳥はなぜ巣を作るのかな？



『くさる』
（かがくのとも傑作集）
なかの ひろたか / さく
（福音館書店）
対象：幼年から

なんだかへんなにおいがする…。うわ！たべものがくさったいやなにおいだ！あれ？お母さんはくさったごみを土の中に入れてしまった。くさったものが、どのようなしくみでしぜんに戻っていくのかわかる本です。

『こんなしっぽでなにをするの？』
ステーブ・ジェンキンス / 共作
ロビン・ペイジ / 共作
（評論社）
対象：ひとりで読むなら
小学校低学年から



鼻やしっぽ、目、耳、口、足をつかっておどろくべき行動をとる動物たち！右がわと左がわがどうじに見える？てんじょうを歩く？目から血をふきだす？だれがどんなことをするのか、いっしょにかんがえてみよう！



『アカメアマガエル』
（いきもの写真絵本）
ジョイ・カウリー / 文
ニック・ピショップ / 写真
（ほるぷ出版）
対象：幼年から

ねったいの森に夜がくると、おなかをすかせた1ぴきのカエルが目をさます。さあ、ごちそうさがしのはじまりだ！森にすむ小さいいきものたちの世界はドキワクワク。いっしょにぼうけんしてみよう！



『わたしのひかり』
モーリー・バング / 作
（評論社）
対象：ひとりで読むなら
小学校低学年から

きらきらとかがやく夜の町のあかり。あのひかりはどこからくるの？それは、「わたしのひかり」なのです。太陽エネルギーから電気が作られていくようすが、美しい絵とやさしいことばでえがかれています。



『さがりばな』
横塚 真こと / 作
（講談社）
対象：ひとりで読むなら
低学年から

ふわふわの綿毛がたくさん川にうかんでいます。その正体は、さがりばなの花。さがりばなの花は、一夜しか生きることができません。短い命を次のあたらしい命へとつないでいくようすが、美しい写真でえがかれています。



『みんなちきゅうのなかまたち』
イングリット・シューベルト / 作
ディーター・シューベルト / 作
（光村教育図書）
対象：幼年から

卵から生まれる動物、水の中でくらす動物、空をとぶことができる動物、100万種類もの虫たち。この地球には、こんなにもさまざまな生き物たちががすんでいるのです。世界の大きさと生き物のふしぎを感じられる絵本。



『いのちのカプセル まゆ』
（ふしぎいっぱい写真絵本）
新開 孝 / 写真・文
（ポプラ社）
対象：幼年から

まゆは、さなぎをやさしくつつんで守ってくれる命のカプセルです。たくさんの写真で、幼虫から成虫に変身するすがたを見てみよう。



『ミミズのふしぎ』
（ふしぎいっぱい写真絵本）
皆越 ようせい / 写真・文
（ポプラ社）
対象：幼年から

ミミズはなにをたべるのかな？うんちはどんなかたち？ミミズのふしぎがあつまった絵本。ミミズの世界をのぞいてみよう！



『ちのはなし』
（かがくのとも傑作集）
堀内 誠一 / ぶんとうえ
（福音館書店）
対象：小学校低学年から

人間や動物にとってたいせつなもの、血。なぜたいせつなの？なぜ赤く見えるの？なぜすりむいたら出てくるの？かんたんな実験もあって、体のしくみについてやさしく学べます。



『にじ』
（かがくのとも傑作集）
さくらい じゅんじ / 文
いせ ひでこ / 絵
（福音館書店）
対象：幼年から

「あっ、にじだ！」虹ってどんなときにできるの？見るむきによってどうして見えたり見えなかったりするの？だれもがかんがえる虹のふしぎに、やさしく答えてくれます。虹って自分で作れるんだ！



『たねそだててみよう』
（みつけようかがく）
ヘレン J. ジョルダン / さく
ロレッタ クルピンスキ / え
（福音館書店）
対象：幼年から

大きな木も、きれいなお花も、おいしい野菜やくだものも、どんな植物もはじめはみんな種。あんなに小さな種なのに、どうしてあんなに大きく育つ？自分で種をうえてまいにち水をかけて育ててみよう。



『こおり』
（たくさんのふしぎ傑作集）
前野 紀一 / 文 斉藤 俊行 / 絵
（福音館書店）
対象：ひとりで読むなら
小学校 中学年から

水が氷になると、中に入った空気はいろいろな形になつてすがたをあらわします。水が氷にかわるとき、どんなことがおきているのかな？しらべてみよう。